

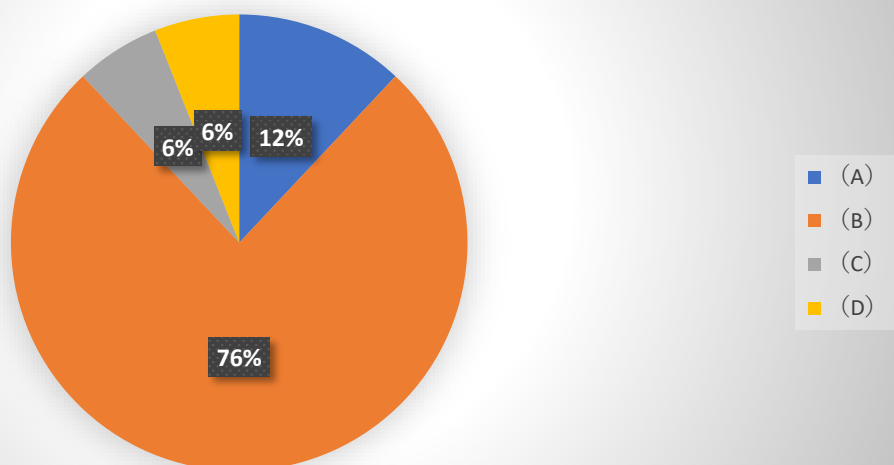
(7) 小学校高学年からの一部教科担任制について

2022年度より実施をめざしている、小学校高学年からの一部教科担任制について、お聞きします。

Q.7 モデル校の実践では、加配教員の配置がなされていますが、加配教員の配置がなくても交換授業を行っている学校もふえつつあるそうです。小学校高学年の一部教科担任制について、みなさんの考えはどうか。

- (A) 教科担任制にすべきではない
- (B) 実施するなら、専科加配教員の配置が必須である
- (C) 加配がない場合でも、交換授業で、教科担任制にすべきである
- (D) わからない

Q.7 一部教科担任制について



教科担任制を意識した人事異動は不可能なので、前年度実施できていた教科が、本年度は実施できないこともあります。制度が先走りすることなく、専科の配置や各学校の実態にあった対応が課題です。

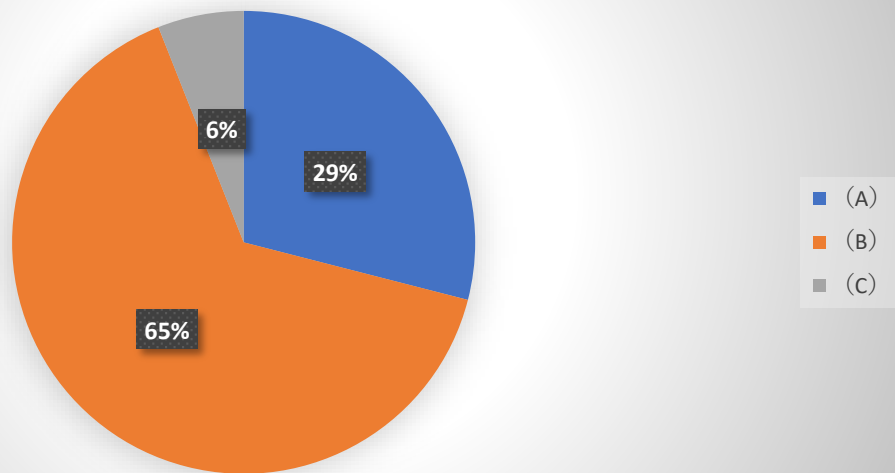
(8) 臨時的任用・会計年度任用職員の 賃金の改善について

学級担任や部活動顧問、校務分掌担当など、各学校では、臨時的任用・会計年度任用職員の仕事の比重が大きくなってきている状態です。

Q.8 臨時的任用・会計年度任用職員の賃金の改善について、あなたの考えを聞かせてください。

- (A)ただちに、賃金を改善すべきである
- (B)賃金を改善し、さらに、学校全体での業務の見直しも行うべきである。
- (C)わからない。

Q.8 臨任部の賃金の改善について



臨時的任用教員を例にすると、経験10年で基本賃金が上限をむかえます。まず、上限の撤廃が重要課題です。現在の学校は、いわゆる臨採は必要不可欠な存在です。賃金など処遇改善はもちろん、学校全体で業務分担について見直しを行い、「人が足りない」ことを理由にした強引な業務の振り分けが行われないよう注意が必要です。

(9)タブレット端末の研修について

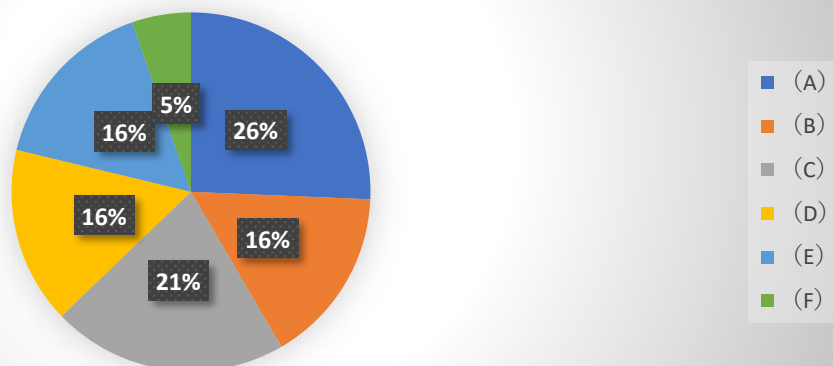
G I G A スクール構想実現にむけ、児童・生徒1人1台のタブレット端末の利用が可能となりました。

Q.9 みなさんの学校で行われた「タブレット端末の授業での活用方法」の研修について、感想をお聞かせください。

(複数回答可)

- (A)新しく知ることも多く、興味深かった。
- (B)どのような場面で活用すればよいか、研究したいと感じた。
- (C)タブレットを使うことで、どのような学習効果が期待できるのか、わかりづらかった。
- (D)操作方法をかなり教えてもらわないと自分には使いこなせないと感じた。
- (E)その他
- (F)無回答

Q.9 タブレット端末の研修について



選択肢で例示した内容は、2021年度職場実態調査での記述回答を参考に作成しました。

タブレット端末は、あくまで授業や家庭学習をする際の便利なツールとして利用することが重要です。端末を使用することが目的とならないよう、今後も注視する必要があります。

記述回答を一部紹介します。

○タブレットより、パソコンの方が使いやすい場面があったり、手書きの方が分かりやすかったりすることもわかった。実際、生徒に生徒会活動や学級活動で自由に使わせてみても、今のタブレットより、パソコンの方が使いやすい場面（画面の大きさ、文字の打ち込みのしやすさ、自分だけで考え作業するやり易さ）があるとの意見が多数あった。実際、職員でも仕事で主に使うのは、タブレットよりパソコンである。

○午前中勤務の為、研修していない。

○健康への影響を考慮して、使用時間の上限を定めることが必要。

(10)働き方改革について

教職員の長時間労働是正、ライフ・ワーク・バランスの確立のために、「働き方改革」は喫緊の課題となっています。

Q.10 学校の業務の中で、なくしてもよいもの、または規模を縮小してもよいと思うものを選んでください。（複数回答可）

(A)部活動等、(B)学校行事、(C)PTA行事、(D)作品募集・文書配布、(E)各種アンケート調査、(F)教科別研究会（出張）、(G)通知表、(H)個人面談、(I)生活記録ノートのそれぞれについて、なくしてもよい、へらしてもよい（規模の縮小）、変えなくてよい、わからないという回答をしてもらいました。それぞれのくくりが大まかなので、回答が難しかったようです。ここでは、グラフ（集計表）は省略します。

下の数値(%)は、左から「なくしてもよい」、「へらしてもよい」
(規模の縮小)、「変えなくてよい」、「わからない」の割合です。

(A) 部活動等	18%	70%	0%	12%
(B) 学校行事	0%	88%	12%	0%
(C) PTA行事	18%	76%	6%	0%
(D) 作品募集・文書配布	29%	71%	0%	0%
(E) 各種アンケート調査	18%	82%	0%	0%
(F) 教科別研究会(出張)	29%	65%	6%	0%
(G) 通知表	0%	76%	18%	6%
(H) 個人面談	18%	41%	41%	0%
(I) 生活記録ノート	18%	70%	6%	6%

選択肢で例示した内容は、2021年度職場実態調査での記述回答
を参考に作成しました。